

研究・調査報告書

報告書番号	担当
352	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名（原題／訳）	
Does binge drinking increase the risk of lung cancer: results from the Findrink study. 多量飲酒は肺癌リスクを増加するのか	
執筆者	
Toriola AT, Kurl S, Laukkanen JA, Kauhanen J.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
Eur J Public Health. 2009 Aug;19(4):389-93. Epub 2009 Apr 15.	
キーワード	
アルコール 大量飲酒 コホート研究 飲酒パターン 肺癌	
要 旨	
<p>目的： 多量飲酒という飲酒パターンと肺癌リスクを検討する</p> <p>方法： 肺癌既往のないフィンランド人男性2267人を対象に飲酒パターンと肺癌の相対リスクをコックス比例ハザードモデルで算出する。</p> <p>結果： 平均追跡期間16.7年で67症例の肺癌を確認した。大量飲酒の肺癌相対リスクは1.89（95%信頼区間：1.10-3.20）（調整因子は年齢、研究年度、がんの家族歴、喫煙、社会経済的状況、余暇の身体活動、BMI）。非喫煙の大量飲酒者では肺癌リスクの上昇を認めなかった。一方、喫煙する大量飲酒者では、喫煙するが大量飲酒でない者に比べ、肺癌リスクの増加を認めた（大量飲酒者の肺癌相対リスク：喫煙20本未満2.7（95%信頼区間：1.61-4.53）,30本未満2.35（95%信頼区間：1.38-3.96）,30本以上2.24（95%信頼区間：1.29-3.80））。</p> <p>結論： 多量飲酒は非喫煙者では肺癌のリスク上昇を認めなかったが、喫煙者では一日の喫煙本数に関わらず、肺癌リスクの上昇を認めた。しかし、非喫煙者の肺癌症例数は相対的に少ないが、多量飲酒と肺癌リスクの関連が、喫煙者のみに観察されたことは、結果に喫煙による交絡が影響している可能性がある。さらに大規模な検証が必要であろう。</p>	